

ごみれば23 2025

【追録版】

循環型社会の形成に向けて



東京二十三区清掃一部事務組合

ごみれば23 2025【追録版】

令和6年12月発行の冊子「ごみれば23 2025」における数値、図等を以下のとおり追録します。「ごみれば23 2025」とあわせてお読みください。

追録内容

P3

はじめに

廃棄物は、一般廃棄物と産業廃棄物に分類されます。

23区内の家庭や事業所などから出される一般廃棄物は年間約245万トン（令和6年度）、1人1日当たりにすると約691グラムになります。

「東京二十三区清掃一部事務組合」（以下「清掃一組」という。）は、この一般廃棄物の中間処理を23区が共同で行うために設置された特別地方公共団体です。

清掃一組の所管する中間処理施設には、可燃ごみを処理する清掃工場や不燃ごみ・粗大ごみを処理する施設、し尿を処理する施設などがあります。

「ごみれば23」は、清掃一組が行う中間処理に関する説明を中心となっていますが、23区で行われている清掃事業全体をご理解いただけるよう、ごみの収集・運搬や資源回収、埋立処分場の状況などについても記載しています。

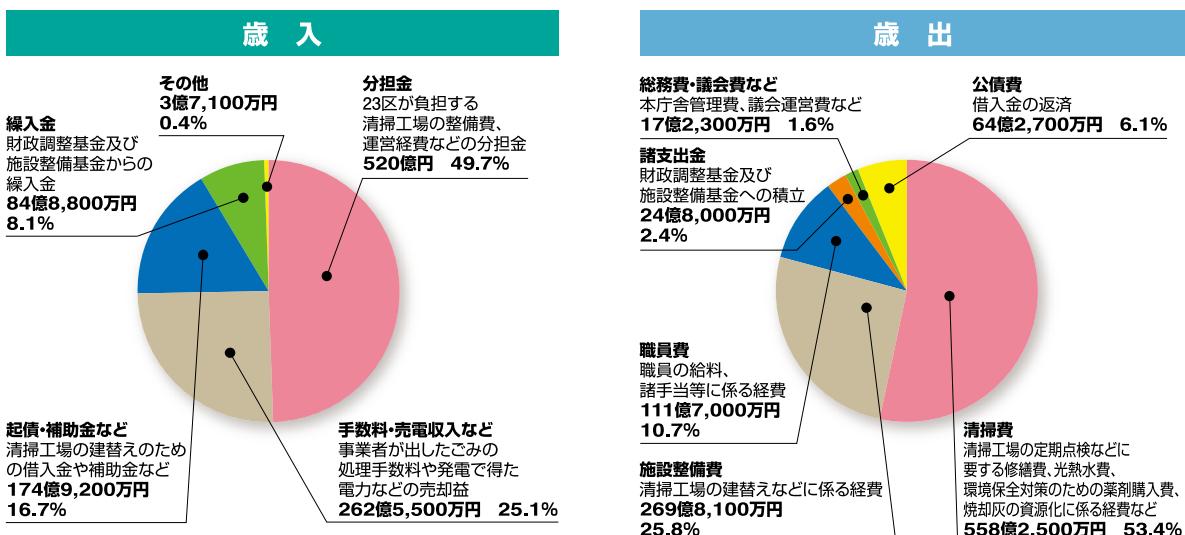
この冊子が、循環型社会の形成を目指す清掃一組の事業や取組、そして、23区で行われている清掃事業の現状をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和7年12月

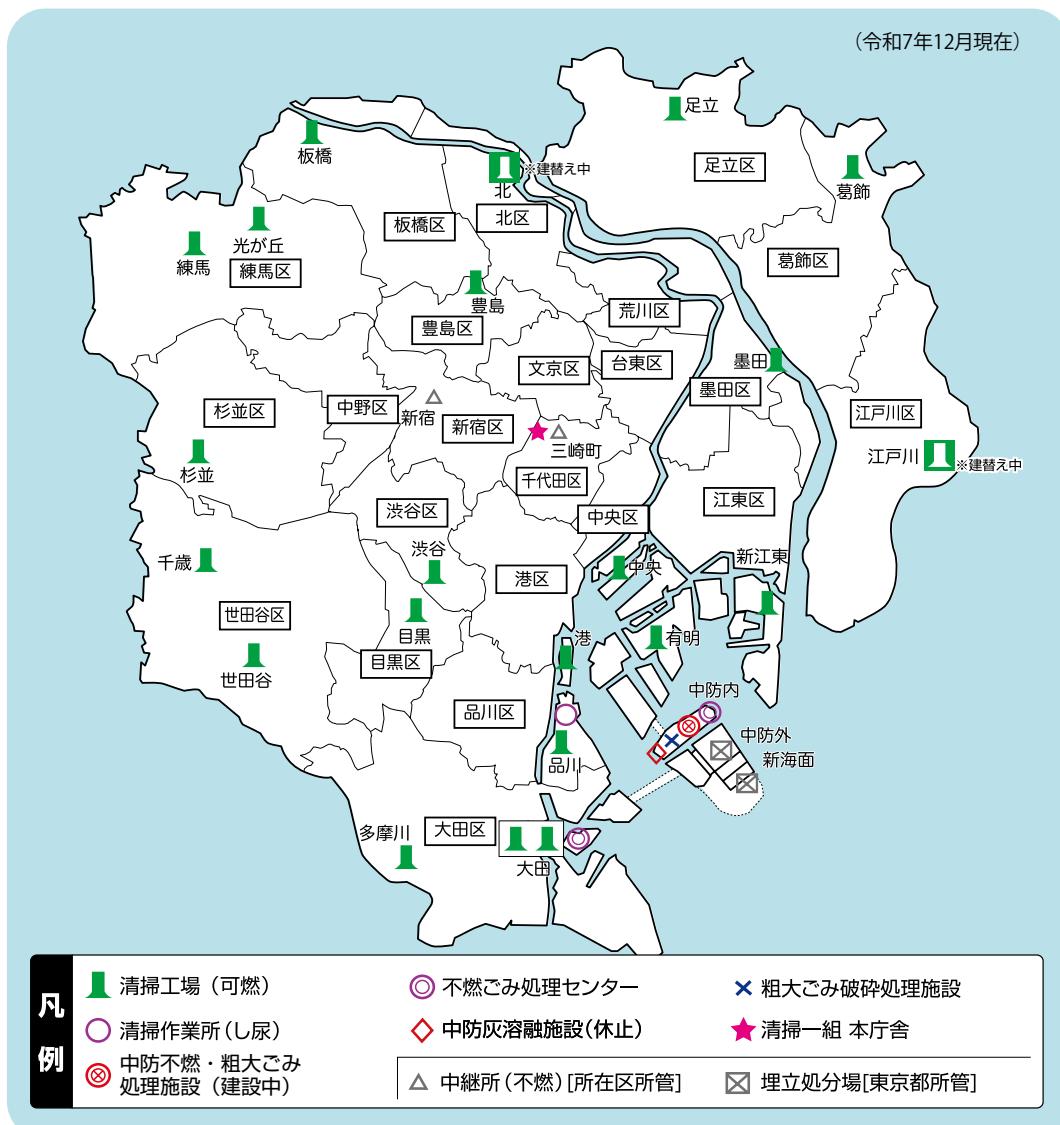
東京二十三区清掃一部事務組合

P5

令和7年度 当初予算額 1,046億600万円



3 施設配置図



清掃工場では、ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電や熱供給に有効利用します。

つくられた電気や高温水などは、清掃工場を稼働するために施設内で利用して、購入電力量や燃料費を削減します。

余った電気は、電気事業者へ売却します。高温水などによる熱の売却は、5施設で行っています。

令和6年度^{*1} 熱の有効利用実績

発電量	12億347万kWh
売電量	7億443万kWh
売電収入額 ^{*2}	108億9,985万円
熱供給量（有償）	43.4万GJ ^{*3}
売熱収入額	1億6,514万円

*1 統計の都合上、令和6年3月から令和7年2月まで

*2 売電収入には非化石価値相当額等の環境価値分を含みます。

*3 G J（ギガジュール）=10億 J（ジュール）

一般的な1世帯の使用電力量を年間3,120kWh^{*}とすると、令和6年度に売却した電力量は、約22.6万世帯分の年間の使用電力量に当たります。※電力会社ホームページより

多く出される粗大ごみ（令和6年度）

第1位

ふとん

756,128枚



第2位

箱物家具

690,132個



第3位

いす（ソファー含む）

644,285脚



第4位

衣装箱

380,322個



第5位

敷物

318,611枚



区収集の粗大ごみ全体では、対前年比2.9%の減少(質量ベース)

令和6年度 資源回収実績

(単位:トン)

	中防不燃ごみ処理センター	京浜島不燃ごみ処理センター	粗大ごみ破碎処理施設	売却収入金額
ごみ搬入量	25,556	11,136	68,460	—
鉄回収量	1,403 (5.5%)	2,072 (18.6%)	11,768 (17.2%)	1億8,008万円
アルミニウム回収量	350 (1.4%)	379 (3.4%)	—	1億7,781万円

()内はごみ搬入量に対する回収率

し尿等収集量の推移

(単位:トン)

年度	合計	し尿	その他				くみ取り便所戸数
			浄化槽汚泥など	ビルピット汚泥	汚水など	計	
令和4	14,083	867	8,818	13	4,385	13,216	600戸
令和5	13,849	758	8,845	10	4,238	13,093	554戸
令和6	14,220	723	9,136	10	4,351	13,497	461戸

※端数処理のため、個々の計と合計の数値は一致しない場合があります。

事業系一般廃棄物

事業者が出すごみは、原則として、事業者が責任を持って適正に処理することとなっています。

事業系の一般廃棄物は、清掃一組の処理施設に搬入することができます。その場合、事前に承認が必要です。

なお、廃棄物処理手数料は1キログラムにつき17円50銭です(令和7年12月現在)。

産業廃棄物

中小企業から排出される産業廃棄物のうち一部は、清掃一組の粗大ごみ破碎処理施設で受入れを行っていましたが、施設老朽化等に伴う大規模な整備工事のため、令和5年12月から受入れを停止しています。

事業系一般廃棄物の受付窓口

持込形態	受付窓口	承認機関
継続持込み	清掃一組 施設管理部管理課	清掃一組
臨時持込み	排出場所を所管する 区の清掃事務所	

- ・継続持込み …事業系一般廃棄物を定期的、継続的に(おおむね1週間に1回以上)処理施設に持ち込む場合
- ・臨時持込み …事業系一般廃棄物を臨時に持ち込む場合

廃棄物処理手数料収入実績(令和6年度)(単位:トン)

	搬入量	収入金額
一般廃棄物*	841,998	147億9,958万円
産業廃棄物	—	—

*一般廃棄物は、持込ごみと管路収集の合計です。

1 ごみ量と埋立処分量の推移

(単位:トン)

年度	区収集(a)			持込ごみ (b)※2	ごみ量計 (a+b)	埋立処分量
	可燃ごみ(うち管路収集) ※1	不燃ごみ	粗大ごみ			
平成30	1,664,457 (4,125)	42,209	59,512	988,119	2,754,296	304,265
令和元	1,679,872 (3,930)	37,781	64,508	984,155	2,766,316	298,667
令和2	1,711,830 (2,636)	37,574	72,055	738,354	2,559,813	247,227
令和3	1,661,496 (2,808)	31,777	74,037	766,169	2,533,479	219,686
令和4	1,611,798 (3,111)	27,559	72,407	828,392	2,540,156	219,883
令和5	1,555,840 (3,432)	25,728	67,268	836,723	2,485,559	182,692
令和6	1,522,235 (3,541)	24,320	65,310	840,738	2,452,604	168,629

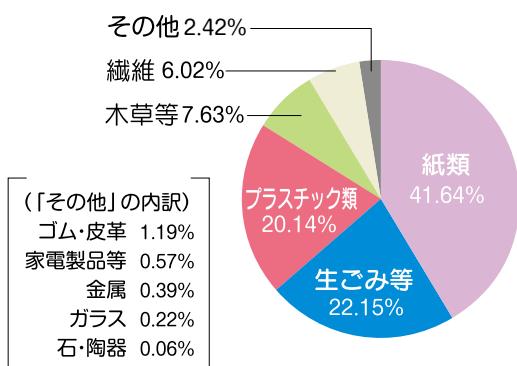
※ 端数処理のため、個々の計と合計の数値は一致しない場合があります。

※1 管路収集とは、ごみを輸送管で清掃工場に運ぶシステムです。23区では、臨海副都心で導入しています(有明清掃工場へ搬入)。

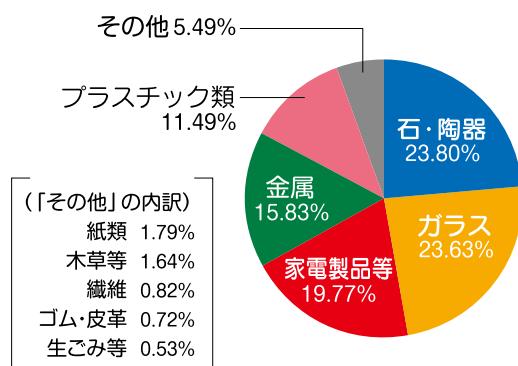
※2 持込ごみとは、承認を受けた事業者などが清掃工場や埋立処分場などに直接持ち込んだごみをいいます。

2 ごみの中身(令和6年度)

清掃工場に搬入されたごみ



不燃ごみ処理センターに搬入されたごみ



(令和6年度清掃工場等ごみ性状調査報告書をもとに作成)

※端数処理のため、合計が100%にならない場合があります。

3 一人が一日に出すごみの量



(算出方法)ごみ排出量を人口で割り、単位をグラムにします。

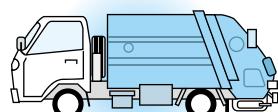
$$\frac{2,452,604\text{トン}}{9,725,730\text{人}} \div 365\text{日} \times 1,000,000 = 691\text{グラム}$$

人口の出典: 東京都総務局統計部「住民基本台帳による世帯と人口(日本人及び外国人)」(令和6年10月1日現在)
※ごみ排出量は、事業系ごみを含みます。

691グラム

4 ごみ・し尿の処理にかかる費用

ごみ1トン当たり



71,569円

[人口1人当たり 約14,673円] (令和5年度)

し尿1トン当たり



183,918円

※収集・運搬、処理、処分にかかる費用

5 清掃一組施設一覧

〈しゅん工順〉

(令和7年12月現在)

清掃工場	清掃工場名	しゅん工年月	稼働年数 ※1	敷地面積 (約m ²)	焼却炉					工場外 熱供給	煙突 高さ (m)	
					型式 ※2	規模 (トン×炉数)	焼却能力 (トン/日)	設計最高 発熱量 (kJ/kg)	発電出力 (kW)			
	有明	平成 7.12	30	24,000	A	三菱重工 マルチン式	200×2	400	14,200	5,600	○	140
	千歳	平成 8. 3	30	17,000	A	川崎重工 サン形	600×1	600	12,100	12,300	○	130
	墨田	平成 10. 1	28	18,000	A	日立造船 デ・ロール式	600×1	600	13,000	13,000	○	150
	新江東	平成 10. 9	27	61,000	A	タクマ HN型	600×3	1,800	13,400	50,000	○	150
	港	平成 11. 1	27	29,000	A	三菱重工 マルチン式	300×3	900	13,400	22,000	—	130
	豊島	平成 11. 6	26	12,000	B	IHI 散気管式	200×2	400	13,400	7,800	○	210
	渋谷	平成 13. 7	24	9,000	B	荏原 旋回流型	200×1	200	13,400	4,200	—	150
	中央	平成 13. 7	24	29,000	A	日立造船 デ・ロール式	300×2	600	13,400	15,000	○	180
	板橋	平成 14.11	23	44,000	A	住友重機械 W+E式	300×2	600	12,100	13,200	○	130
	多摩川	平成 15. 6	22	32,000	A	IHI 回転ストーカ式	150×2	300	12,100	6,400	○	100
	足立	平成 17. 3	21	37,000	A	荏原 HPCC型	350×2	700	12,100	16,200	○	130
	品川	平成 18. 3	20	47,000	A	日立造船 デ・ロール式	300×2	600	12,100	15,000	○	90
	葛飾	平成 18.12	19	52,000	A	タクマ SN型	250×2	500	12,100	13,500	○	130
	世田谷	平成 20. 3	18	30,000	C	川崎重工 流動床式	150×2	300	12,100	6,750	○	100
大田	【新】	平成 26. 9	11	92,000	A	タクマ SNF型	300×2	600	14,800	22,800	—	47
	【第一】	平成 2. 3	29		A	タクマ HN型	200×3	600	12,600	9,000	—	41
	練馬	平成 27.11	10	15,000	A	JFE ハイパー2ストーカ	250×2	500	14,300	18,700	○	100
	杉並	平成 29. 9	8	36,000	A	日立造船 デ・ロール式	300×2	600	14,300	24,200	○	160
	光が丘	令和 3. 3	5	23,000	A	タクマ SNF型	150×2	300	13,500	9,150	○	150
	目黒	令和 5. 3	3	29,000	A	JFE ハイパー2ストーカ	300×2	600	13,500	21,500	○	150

江戸川清掃工場と北清掃工場は建替えに伴い、稼働を停止しています。

新江東清掃工場は令和7年度～10年度で延命化工事を実施しています。

※1 稼働年数は、一般廃棄物処理基本計画（令和3年2月改定）の「清掃工場の整備スケジュール」の令和7年度時点の稼働年数です。

同計画において、清掃工場の計画耐用年数は、25年から30年程度としています。

※2 焼却炉分類

A…火格子（ストーカ）式焼却炉（全連続燃焼式） B…流動床式焼却炉（全連続燃焼式） C…ガス化溶融炉（全連続運転式）

分類	施設名	しゅん工年月	処理方法	規模
不燃	中防不燃ごみ処理センター第二プラント	平成 8.10	日立造船 橫型回転衝撃式	4.8トン/h×2系列
	京浜島不燃ごみ処理センター	平成 8.11	極東開発 縦型回転衝撃式	8トン/h×4系列
粗大	粗大ごみ破碎処理施設	昭和 54. 6	極東開発 縦型回転衝撃式	32.1トン/h×2系列
灰溶融	中防灰溶融施設 ※	平成 18.12	三菱重工 プラズマ式・黒鉛電極	100トン/日×4炉
し尿	品川清掃作業所(下水道投入施設)	平成 11. 1	希釀処理(還元水および清掃工場処理水)	100トン/日

中防不燃ごみ処理センター第一プラントを解体・撤去し、新たに中防不燃・粗大ごみ処理施設を建設しています。

※中防灰溶融施設は、灰の溶融を休止しています。

23区のごみ収集量と資源回収量(令和6年度)

(単位:トン)

区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	区 収 集 ごみ 量				資源回収量			
			可燃ごみ (うち管路 収集ごみ)	不燃ごみ	粗大ごみ	計	ステーション 回収など	ピックアップ 回収	集団回収	計
合計	9,725,730	5,522,572	1,522,235.29 (3,541.34)	24,320.38	65,309.97	1,611,865.64	351,329	30,868	132,613	514,810
千代田	68,981	39,536	13,658.41	496.85	601.22	14,756.48	4,345	97	1,246	5,688
中央	186,496	106,145	31,930.29	-	1,418.96	33,349.25	9,025	1,764	3,858	14,647
港	268,030	154,139	47,496.94 (1,944.12)	1,226.42	2,174.12	50,897.48	14,950	967	4,712	20,629
新宿	352,628	231,351	60,507.85	1,267.82	2,927.45	64,703.12	14,866	415	4,601	19,882
文京	234,956	130,757	38,088.86	1,212.17	1,294.37	40,595.40	8,986	455	3,236	12,676
台東	215,535	136,622	36,651.91	524.32	1,505.54	38,681.77	7,516	980	3,641	12,136
墨田	287,445	170,279	44,426.93	1,252.83	2,373.76	48,053.52	10,564	53	3,248	13,864
江東	541,380	293,885	82,791.41 (1,594.54)	-	3,650.12	86,441.53	16,335	2,466	10,508	29,309
品川	412,421	237,901	60,807.71 (2.68)	2,051.78	1,922.44	64,781.93	17,269	1,795	6,208	25,272
目黒	281,001	161,242	44,499.27	1,557.28	2,714.04	48,770.59	6,586	54	9,955	16,595
大田	739,701	417,968	111,201.75	1,789.73	3,863.11	116,854.59	24,012	2,276	8,567	34,855
世田谷	923,135	502,587	151,793.95	3,242.71	7,861.64	162,898.30	36,135	1,252	5,480	42,867
渋谷	231,751	143,927	40,809.52	1,432.50	1,421.47	43,663.49	13,864	1	1,968	15,832
中野	341,440	217,737	50,270.99	145.31	2,562.61	52,978.91	7,199	1,782	10,841	19,822
杉並	577,467	334,696	83,449.08	2,211.70	3,500.10	89,160.88	28,346	1,067	3,608	33,020
豊島	294,727	188,240	44,855.52	122.57	2,392.13	47,370.22	12,697	1,320	1,964	15,982
北	361,600	211,197	52,645.44	136.15	2,127.64	54,909.23	13,271	1,799	4,491	19,561
荒川	221,662	124,809	36,589.43	105.89	1,294.19	37,989.51	225	1,223	8,787	10,235
板橋	578,456	334,205	87,169.30	-	4,143.66	91,312.96	18,037	2,848	10,249	31,134
練馬	745,807	395,221	108,785.40	2,244.12	5,076.00	116,105.52	28,825	1,793	7,435	38,054
足立	697,672	378,392	115,356.55	265.41	3,354.02	118,975.98	18,930	3,951	6,545	29,426
葛飾	469,754	252,461	72,347.11	1,161.69	2,318.63	75,827.43	17,320	1,491	4,598	23,410
江戸川	693,685	359,275	106,101.67	1,873.13	4,812.75	112,787.55	22,027	1,020	6,866	29,913

資源回収量の出典:令和6年度清掃事業年報別冊リサイクル編(特別区清掃リサイクル主管課長会発行)

人口及び世帯数の出典:東京都総務局統計部「住民基本台帳による世帯と人口(日本人及び外国人)」(令和6年10月1日現在)

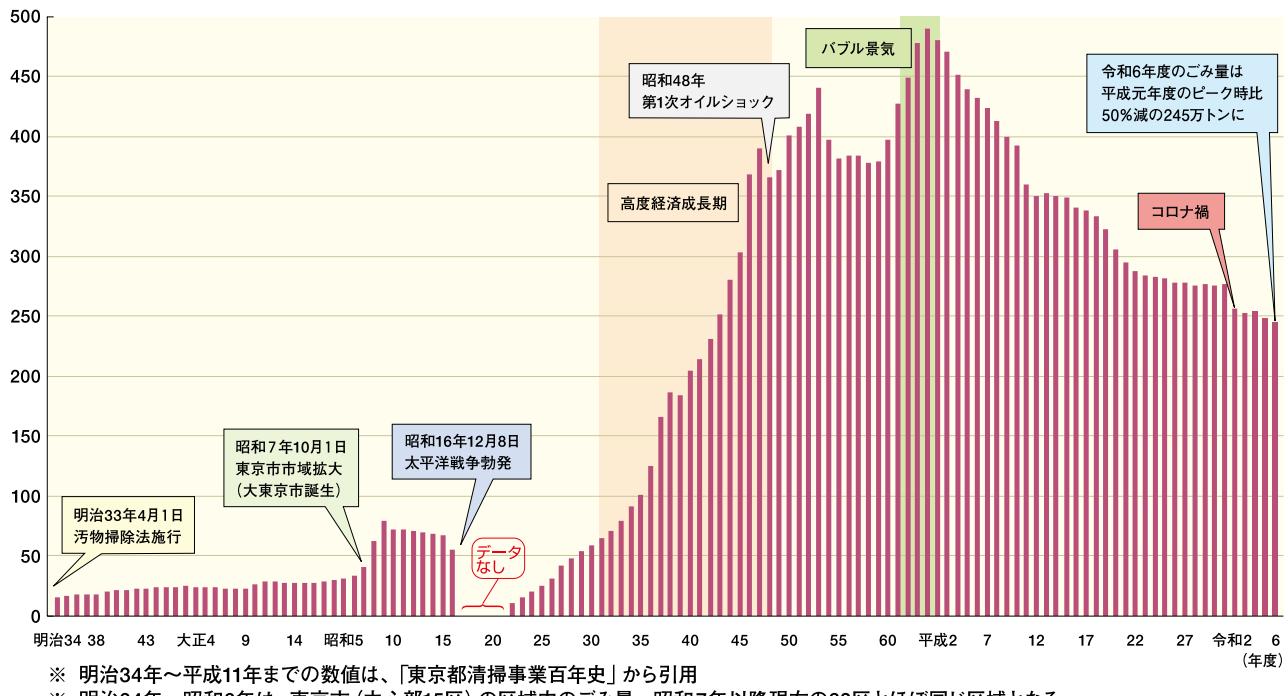
※端数処理のため、個々の計と合計の数値は一致しない場合があります。

廃棄物の埋立処分場の変遷

番号	場所	開設年	面積							
			昭和30 (1955)	昭和40 (1965)	昭和50 (1975)	昭和55 (1980)	昭和60 (1985)	平成2 (1990)	平成7 (1995)	平成12 (2000)
①	8号地(江東区潮見)	37								364,000m ²
②	14号地(江東区夢の島)	32	37							450,000m ²
③	15号地(江東区若洲)	40	49							712,000m ²
④	中央防波堤内側埋立地(江東区海の森)	48	61							780,000m ²
⑤	中央防波堤外側埋立処分場	埋立量約5,550万トン (令和6年度未現在)								1,990,000m ²
⑥	羽田沖(大田区羽田空港)	59	3							124,000m ²
⑦	新海面処分場	埋立量約981万トン (令和6年度未現在)								3,190,000m ²

23区のごみ量推移（明治34年度～令和6年度）

単位：万トン



全国のごみ量と23区のごみ量・焼却処理量・埋立処分量・資源回収量の推移

単位：万トン

平成元年度 23区ごみ量ピーク
ごみ量：490万トン
埋立処分量：240万トン
ごみ減量キャンペーン
「TOKYO SLIM」展開

23区のごみ量
23区の焼却処理量
23区の埋立処分量
23区の資源回収量
全国のごみ量

単位：万トン

全国のごみ量

平成3年度 粗大ごみ有料化

63 平成元

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

55

60

平成

令和

6(年度)

平成8年度 事業系ごみ全面有料化

平成11年度 ごみ集積所を使った資源回収本格実施スタート

平成20年度 廃プラスチックのサーマルリサイクル全区で実施

令和6年度

埋立処分量は

平成元年度のピーク時比

93%減の17万トンに

※ 平成11年度までは東京都清掃局の統計資料から引用

※ 23区の資源回収量は23区で回収された紙類、びん、缶、ペットボトル、プラスチック容器などの合計量で、行政回収量と、ピックアップ回収及び集団回収量の合算値を表示。ただし、行政回収量は平成11年度までは東京都回収分、平成12年度以降は23区回収分。

※ 全国のごみ量は環境省資料を引用

発行年月日 2025（令和7年12月

編集発行 東京二十三区清掃一部事務組合

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号

Tel: 03(6238)0613 FAX: 03(6238)0620

<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

印刷物登録

令和7年度 第14号

再生紙を使用しています